

# Congratulations!

## 『円盤投日本記録保持者25周年』

### 川崎清貴氏に聞く



川崎清貴氏

呉市には、陸上競技の円盤投げに日本記録を出された方が二人おられます。一人は女子円盤投げの原野みど里さん(旧姓山中)で、1980年4月19日筑波大学の記録会で投げられた51m82が、当時の日本記録でした。

もう一人は、男子円盤投げの川崎清貴氏(49歳)です。川崎氏は1974年4月14日静岡県沼津市の大昭和製紙競技場開場記念競技会で、初めて52m60日本新記録を樹立し、今年で25年が経過しました。これは、現存する日本記録保持者としては最も長い記録です。この年以來毎年日本記録をのぼし、1979年4月22日草薙競技場での静岡リレーカーニバル大会で、60m22の記録を出し、今年で20年間日本記録を保持されています。この記録は、オリンピック種目の中で、1500mの石井隆士氏の1977年9月3日デュッセルドルフでのワールドカップで、3分38秒24の日本記録22年に次ぐ記録です。そんな川崎氏に、お祝をかねてインタビューをしました。

**Q** 円盤投げ、日本記録保持者25周年記念おめでとうございます。

25周年を迎えられた気持ちはどうですか。

**A** 当日は、大雨でした。あの日から25年も経ったのか。私も年を取ったなあ。という感覚です。

**Q** 初めて日本新記録を出した時の気持ちはどうでしたか。

**A** 何時かは、自分も日本記録保持者になりたいと思っていましたが、悪条件が重なった日でしたので、記録を聞いた時もあまりピンときませんでした。あとから、仲間に祝福されジワジワ来ました。試合後、ビールで乾杯し、声を出して泣いたことを覚えています。

**Q** 60m22の日本記録を出された時の様子を教えてください。

**A** 年齢は28歳でした。体調は普通でしたが、グランドコンディションは最高でした。右40度2.3mの風によく乗せたと思います。

**Q** 中学・高校・大学・実業団時代はそれぞれどんな選手でしたか。

**A** 中学から高校2年生の夏までは、走高跳び中心に、110mH・リレー等色々やっていました。

高校2年の秋より円盤投げを始め、3年生では、広島で開催された、全国高校総体では8位でした。

中京大学に進み、本格的に円盤投げに取り組みました。

しかし、本当に本気になったのは、室伏選手と出会い、大

昭和製紙に入社してからです。学生の頃は、理論的なものはあまりないまま、ただ回転をして投げていたように思います。

**Q** 日本記録を出していた頃の練習方法はどうでしたか。

**A** 昭和53年から54年の冬季練習は、ウエイトトレーニングは1週間に4日で、トータル70000kgを上げ、投げ込みは、日曜日以外は毎日100~150本、ウエイトの日は50~70本投げました。バウンディングは毎日5段跳びと10段跳びを10本をやっていたように思います。

**Q** スローイングシューズは、どのくらいで履きつぶしましたか。

**A** アシックスシューズ(日本製)で4日1足、アディダスシューズ(ドイツ製)であれば1ヶ月で1足はきつぶしました。

**Q** 高校時代、人さし指によく血豆をつくっていましたが。

**A** 学生時代もよくつくりました。早め早めに皮を破り、血を抜いていました。そうしますと、中の肉が段々硬くなりあまり出来なくなりました。しかし、神経もやられたのでしょうか、今でも感覚が鈍いようです。

**Q** 何を目標に頑張っていましたか。

**A** ずばり、モスクワオリンピックでした。

アメリカに並び、日本もオリンピックを辞退したため、オリンピックの夢が断たれました。私の青春でした。今、思い出しても悔しいです。

**Q** 海外遠征はどれくらい行きましたか。印象に残っている国はどこですか。

**A** 遠征は10回です。日中国交回復後の中国です。北京に着いた日に毛沢東首席が亡くなられ、試合は中止になりました。5日後に甲斐をして帰国しました。歴史の真只中にいるような気がしました。

**Q** 現在の日本・広島県の投擲選手をどのように思いますか。外国選手との比較等、又、どのようにすれば外国選手に勝てますか。

**A** 最近、選手を見ていないのであまりコメント出来ませんが、今も昔も日本選手は、縦、横、斜めの軸を持っていないように思います。外国選手はそのことについて非常に勉強をしています。筋力トレーニングや投擲練習をいくらやっても軸の理論武装が解かっているなければ、飛ぶ物も飛ばないと思います。

**Q** 今、コーチされている山口智子選手はどうですか。

**A** 最近、理論的に解かってきているので、そろそろではないでしょうか。乞うご期待。

**Q** 将来の夢は?

**A** 60m22を破る選手を育てたい。

**Q** 後何年日本記録を保持されると思いますか。

**A** それは、現役選手に聞いて下さい。

どうも、お忙しいところありがとうございました。